リーフレットダイジェスト版

令和8年度、2026年度、大阪府豊能地区、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町、公立学校教員募集リーフレット

これは大阪府豊能地区公立学校教員の採用選考テストの実施にあたり、受験を希望する人に、参考としていただくために作成したリーフレットを抜粋したものです。

**1、大阪府豊能地区とは**

大阪府の北西に位置する、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の、3市2町を豊能地区と呼んでいます。大阪国際空港やJR新大阪駅に近接する成熟した都市部と、季節ごとに様々な表情を見せる魅力的な自然環境を併せ持った地区です。豊能地区は全国で唯一、市町共同で教員採用選考を実施しており、毎年各地から、ここ、豊能地区で先生になることをめざす、多くのかたに志願いただいております。

**2、豊能地区3市2町の特色ある教育**

豊中市

ホームページ、https://www.city.toyonaka.osaka.jp/

学校数、小学校38校、中学校16校、義務教育学校1校

豊かな夢を子どもたちに、ともに描く学びと創造のまち、とよなか

大きな夢をいだいて、ほがらかに生きよう

その1,庄内地域に、豊中市初の義務教育学校が開校

つながるちから、まなぶちから、つくるちからを基本として、やり抜くことで世界にはばたいていく子どもをはぐくみます。令和5年、2023年、4月に、庄内さくら学園が開校しました。また、令和8年、2026年に、庄内よつば学園が開校予定です。

その2,教職員の働きかた改革を推進

教員業務支援員を市立学校全校に配置、もと校長などの、学校運営支援員による巡回訪問、および教職員からの相談対応、勤務時間外の留守番電話対応、携帯電話の配備、学校行事の精選、定時退勤びの設定、学校閉庁びの導入などの取組を行い、働きやすい職場環境づくりに努めています。

その3,ICT活用のための環境整備

児童生徒用の1人1台タブレット端末は、家庭をはじめとした学校外での学習でも端末を活用できるよう、iPadのLTEモデルを配備しています。加えて、教員用端末の整備や、ICT支援員の配置も行なっています。また、ICTを活用した子ども主体の授業づくりのための研修や、情報セキュリティや、デジタル・シティズンシップなどの課題に応じた研修などを実施しています。

その4,マチカネ先生塾、および教員サポートシステム

教員をめざす学生には、マチカネ先生塾、で、経験の浅い教員には、もと校長などの、経験豊富な学校運営支援員が、授業りょくのサポートを行なっています。

その5,た文化共生

帰国、とにちや外国にルーツのある児童、生徒に対する様々な学習支援や居場所づくりなど、支援施策に取り組むとともに、互いに認め合い、尊重し合い、ともに生きるた文化共生の視点での学びを進めています。また、ユネスコスクール参加校などは、国内外の学校との協働授業に取り組んでいます。

その6,大学との連携、サウンドスクール事業

大阪音楽大学との連携により、音楽があふれる学校づくり、を進め、子どもたちが、生きた本物の音楽、にふれる教育を推進しています。

池田市

ホームページ、https://www.city.ikeda.osaka.jp/

学校数、小学校9校、中学校4校、義務教育学校1校

池田で学ぶ子どもたちに、学ぶ喜びを！

魅力のある学校園づくり、特色のある研究活動

その1,小中一貫教育の推進

中学校区をまるまる学園、と呼称し、幼稚園や保育園などの就学前から、義務教育9年間を見通した、小中一貫教育を推進しています。校種を越えた、異学年交流も盛んで、児童、生徒はもちろん、校種の違う教職員同士もつながることができます。また、義務教育学校、ほそごう学園、では、1年生から9年生が学校生活をともにしています。

その2,支援教育体制の充実

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校につうきゅう指導教室を開設し、個、に応じた指導を進めています。

その3,外国語教育の推進

全小学校と義務教育学校に、英語専科教員、を配置し、1年生から6年生までの系統的な英語の指導を実践しています。また、教員を対象に、オーストラリアにある姉妹都市、ローンセストン市への語学研修を実施し、現地の教育事情を学ぶとともに、現地校で指導者として授業を体験しています。

その4,ICTの活用

全小学校・中学校・義務教育学校の各教室に電子黒板を整備し、児童生徒1人1台タブレット端末を導入。教職員にもタブレット端末を貸与しており、ICT機器を活用した新しい授業づくりの研究や、校務での活用方法についての研究も日々、行われています。

学校の枠を越え、学びでつながる地域社会との連携

その5,地域社会との連携

学校、地域、家庭が協働し、子どもたちが生き生き活動できる、教育コミュニティづくり、を推進しています。また、留守家庭児童会の機能拡充のための環境整備を進め、子どもの居場所づくりや家庭教育支援を行なっています。

その6,ふくまるきょうし塾で人材の育成

池田市の教員をめざすかたに向けて、ふくまるきょうし塾、をかいじゅくし、学校現場で子どもたちとともに学ぶ、現場実習、と、学識経験者や現場の教員から、今、を学ぶ、セミナー、の二本ばしらで、教員としての資質、能力を育成しています。

箕面市

ホームページ、https://www.city.minoh.lg.jp/index.html

学校数、小学校12校、中学校6校、小中一貫校2校

子どもたちの豊かな学力をはぐくむ、最新の教育環境

その1,ICTを活用した授業、保護者との連絡

箕面市では、全、児童生徒に配備された1人1台のタブレット端末をつかい、一人ひとりの課題に応じたドリルに取り組むなどして、個別最適化された学習を進めています。また、学習支援ソフト、トモリンクス、を活用し、オンライン上でのプリント配付や、回収を行うことが可能です。デジタル連絡帳を活用することで、児童生徒端末のみならず、保護者のスマートフォンにも反映され、正確かつ迅速に連絡事項を伝えることができ、教員と保護者の負担を軽減しています。

その2,すべての小中学校で、9年間一貫した教育を実施

箕面市では市内の全小学校、中学校で、小中一貫したカリキュラムが組まれており、子どもたちはのびのびと成長できます。中でも、とどろみの森学園、と、さいとの丘学園、は、9年間同じ敷地で学べる、施設一体型の小中一貫校で、市内の小中一貫教育をリードしています。

その3,箕面の授業の基本、で、指導のスタイルを確立

箕面版、授業の手引きを活用することで、すべての先生が、子ども主体の課題解決型授業を展開しています。

その4,英語教育の推進

箕面市では、市内の全小学校、中学校の全学年で、英語の学習を毎日実施しています。さらに、各校でネイティブ、英語指導助手、とのティームティーチングを実施し、学校の授業だけで、高い英語りょくを身につけることができます。箕面から世界へ活躍できる、子どもたちを育てています。

その5,ぴあカレッジ、で教員養成

箕面市の教員を志す学生、および講師のかたを対象に、教員養成セミナーを実施しています。ICT教育、授業づくり、生徒指導、支援教育、人権教育、など、様々な教育内容について学び、子どもたちの豊かな人生を切り拓くために必要な、教員としての資質、能力をはぐくんでいます。

豊能町

ホームページ、https://www.town.toyono.osaka.jp/

学校数、小学校4校、中学校2校、うち小中一貫教育校1校

豊かな自然、と、豊かな人材、を、活かし、豊かな子ども、を育てる

めざす子ども像、豊能町に誇りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども

その1,地域とともにある、義務教育学校の設立

令和8年4月、町内の東地区、西地区、それぞれに義務教育学校、2校を設立し、新しい学びの段階、4，3，2制、を導入していきます。先行して、令和4年4月、東地区に施設分離型の小中一貫教育校、東能勢小中学校、を開校し、前期学部、1年生から4年生、が小学校校舎で、そして中期、後期学部、5年生から9年生、が中学校校舎で、それぞれ学校生活を送っています。

その2,ほよう小中一貫教育の推進

0さいから15さいまでの15年間の、学び、と、育ち、をつなぐ一貫した教育を推進し、確かな学び、と、豊かな心、の育成、グローカル人材、の育成をめざします。ちなみに、グローカル人材、とはグローバル、世界、と、ローカル、地域、を合わせた言葉で、どちらの視点も持てる豊かな人材のことを意味します。

その3,とよの未来科、の本格実施

地域資源を最大限活用した、豊能町だからこそ学べる、体験的、探究的な学習、を就学前から行います。とよの、の宝物について学び、グローバルな視点で、豊能町の未来、のために、自分たちでできることを考える学習を行なっていきます。

能勢町

ホームページ、https://www.town.nose.osaka.jp/

学校数、義務教育学校1校

自分がすき、能勢がすき、仲間とともに、夢がいっぱい

その1,義務教育学校、発達段階に応じた柔軟な指導、支援

もっと地域とともに、もっとあたらしい学びへ、もっとチームに、をスローガンに、町内でひとつの学校である能勢ささゆり学園が、令和4年4月に義務教育学校へ移行し、9年間の学び、生活を効果的につないでいます。

その2,学力向上サポート

ICTの活用推進、英語教育の充実、5年生から9年生が対象となる英語4技能テストなど、また能勢町学力テスト、大阪府立豊中高等学校能勢分校との連携など、様々な機会を設け、確かな学力の定着をめざしています。

その3,子どもの安心サポート

福祉との連携、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどのた職種で構成するチーム学校、コミュニティスクールの取組、支援教育の充実、つうきゅう指導教室の開設など、学校、地域、行政で一人ひとりの子どもを大切にする教育を進めています。

その4,働きやすい環境

豊かな自然に囲まれ、素直で元気な子どもたち、学校と協働する地域、保護者、あたたかい教職員集団、広々として充実した学校施設。小さなまちならではの充実した教育環境のもと、夢、を持つ子どもたちを育成しています。

その5,体力向上サポート

大学と連携し、授業支援、体力向上プログラムやイベントを実施し、元気でたくましい子どもの育成に努めています。

**3、豊能地区3市2町の紹介**

豊中市

高校スポーツ発祥の地、とよなか

野球、アメリカンフットボール、ラグビー、サッカーなど、全国の高校生大会が開催された、豊中グラウンドがあったまちです。

その1,平成24年から、中核市

大阪市に近い地の利と、起伏に富んだ丘陵地帯は、早くから絶好の住宅地として選ばれ、文教都市の名声が高まるにつれ、人口が急激に増え、市街地も大きく広がりました。

その2,抜群の広域アクセスを誇るまち

阪急電鉄や大阪モノレール、北大阪急行、阪急バスといった公共交通機関が充実しています。また、阪神高速11号池田線、中国縦貫自動車道、名神高速道路、国道176号線や423号線、しんみどうすじ、などの道路網が市内を縦横に走っています。さらに、大阪国際空港から全国各地へ空路でつながるなど、市内や広域の交通利便性を支えています。

その3,音楽あふれるまち

豊中市内には、日本センチュリー交響楽団や大阪音楽大学など、他の市にはない音楽環境があることから、音楽あふれるまち、とよなか、と銘打ち、子どもたちへのフルオーケストラコンサートや、市内の神社や教会でのアンサンブルコンサートなど、様々な音楽イベントを実施しています。

池田市

人と自然と文化、が調和するまち、池田

事始めのまち、として、阪急阪神東宝グループを築いた、小林いちぞう、や、日清食品の創業者である、安藤百福、ゆかりの地である池田市は、大阪府北西部に位置し、さつきやまや、いながわなどの自然に恵まれ、駅前を中心に商業施設が充実した、住みよいまちです。

大阪みどりの百選、にも選ばれているさつきやま公園は、春は桜、秋は紅葉の名所となっています。また、公園内には、さつきやま動物園、があり、ワラビーやアルパカ、珍しいウォンバットなどが飼育されています。本市のマスコットキャラクター、ふくまるくん、は、ウォンバットをモチーフにしています。

箕面市

地域の絆で守る、地域の安全

大阪で一番安全なまち、をめざし、すべての通学路や公園に防犯カメラを設置。その数は、約2000台。設置前と比べて、子どもへの声かけなど、不審しゃ情報やひったくりなどが半減し、効果は抜群。また、防犯カメラ設置費用の補助もしているので、自治会も地域にカメラを設置し、市民協働で防犯りょくを高めています。

豊能町

人とみどりが輝くまち、とよの

大阪府の北部にあり、ほくせつ連山に囲まれた自然豊かなまち、豊能町。棚田が一面に広がり、川のせせらぎ、かぜのおとが聞こえる、いなか、の顔と、整備された住宅地が続き、自然と調和した、まち、の顔を併せ持ったまちです。自然や立地に恵まれた環境のほかに、歴史も特徴的。かつてこの地はキリスト教信仰が行われ、キリシタン大名として名高い福者、高山右近の生誕地です。また、豊能みかげ石がとれる、石のまち、として、史跡や石仏、せきとうなどが各地に残されています。

能勢町

人、地域、地球の健康を守り、縁をつなぐ、開かれたまち、能勢

能勢町は、大阪府の北端に位置し、豊かな里山の自然と歴史に恵まれて生命をはぐくみ、独自の文化を持つまちとして発展してきました。里山の自然資源や人々のつながりを基軸として、人と人、里山と街をつなぎ、自立的で魅力あふれるまちづくりをめざしています。とりわけ、エスディージーズの達成に向け、地域資源が循環する、里山未来都市の実現、をめざし、ゼロカーボンタウンの実現や、里山資源の活用、健康長寿の取組など、持続可能なまちづくりの実現に取り組んでいます。

**4、選考職種**

小学校教諭、中学校教諭、養護教諭、栄養教諭

**5、出願期間**

令和7年、2025年、3月24日、月曜日、から、4月24日、木曜日、まで

詳しくは令和8年度、2026年度、大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト、受験案内、をご確認ください。

**6、出願方法**

インターネットによる出願は、協議会ホームページ、https://toyono-jinjikyo.com/、から、電子申込システム、にアクセスし、該当する選考区分の手続きのページから出願してください。

**7、採用までの日程**

その1,願書の受付期間

インターネットによる電子申込は令和7年、2025年、3月24日、月曜日、午前10時から、4月24日、木曜日、午後5時まで。

電子申請での出願が困難なため、郵送による出願を希望される場合は、事前にお問い合わせください。

その2,第1次選考

ひっとうテストは6月14日、土曜日。

面接テストは6月21日、土曜日、から、7月1日、火曜日、のうち、いずれか1日を指定します。

第1次結果発表は7月22日、火曜日、の予定。

その3,第2次選考

ひっとうテストは8月9日、土曜日。

実技テストは8月2日、土曜日、4日、月曜日、9日、土曜日、24日、日曜日。

校種教科により異なります。

面接テストは8月16日、土曜日、から、8月23日、土曜日、のうち、いずれか1日を指定します。

第2次結果発表は9月26日、金曜日、の予定。

その4,合格者には、採用前セミナー、健康診断、採用先市町決定通知、オリエンテーションを、12月中旬から2月下旬にかけて実施予定。

令和8年、2026年4月採用、辞令交付式。

**8、問い合わせ先**

大阪府豊能地区教職員人事協議会

〒561-8501

豊中市、なかさくらづか、3丁目1番1号、豊中市役所内

電話番号、06-6858-3341

ホームページ、<https://toyono-jinjikyo.com/>